

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 日本特殊塗料株式会社

コード番号 4619

URL <http://www.nttoryo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 酒井 万喜夫

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務
業務本部長

(氏名) 田谷 純

(TEL) 03-3913-6134

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

平成29年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	26,233	23.2	1,238	△1.8	2,594	△17.7	1,842	△18.5
29年3月期第2四半期	21,291	3.2	1,261	27.5	3,151	32.9	2,260	21.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,547百万円(156.4%) 29年3月期第2四半期 993百万円(△9.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	83.32	—
29年3月期第2四半期	102.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	71,454	41,414	53.9
29年3月期	66,987	39,539	54.9

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 38,513百万円 29年3月期 36,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00
30年3月期	—	14.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	18.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	55,200	15.0	3,200	1.2	5,800	△14.0	3,800	△20.5	171.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	23,611,200株	29年3月期	23,611,200株
30年3月期2Q	1,501,507株	29年3月期	1,500,767株
30年3月期2Q	22,110,062株	29年3月期2Q	22,110,620株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復基調を維持しております。世界経済は、米国を中心に堅調さを維持しているものの、中国経済成長の伸び悩みや、北朝鮮問題などの地政学リスクの高まりなどから、先行きは不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、国内、海外ともに受注が堅調に推移したことで262億3千3百万円（前年同期比23.2%増）となりました。

損益面につきましては、売上増収に対応し生産性の向上に努めましたが、原材料価格の高騰、新規部品生産立上げ、固定費の増加により営業利益は12億3千8百万円（前年同期比1.8%減）、経常利益は25億9千4百万円（前年同期比17.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億4千2百万円（前年同期比18.5%減）となりました。

なお、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、主に持分法による投資利益が前期比で減少すること（前期は米国関連会社における固定資産売却益9億6千万円を計上）等により、前年同期を下回っております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 塗料関連事業

当セグメントの業績につきましては、売上高は工事関連売上等が堅調に推移したことで前年同期を上回りましたが、セグメント利益は原材料価格の高騰、固定費増加により前年同期を下回りました。

品種別売上高につきましては、建築・構築物用塗料のうち、主力の床用塗料、防水用塗料は新規顧客の確保、拡販等により順調に推移しました。また、工事関連売上の集合住宅大規模改修工事についても、工事契約物件の増加、工事進捗度合いにより前年同期比44.1%と大きく伸張しました。

この結果、当セグメントの売上高は73億1千2百万円（前年同期比10.1%増）、セグメント利益は1億6千1百万円（前年同期比28.4%減）となりました。

② 自動車製品関連事業

当セグメントの業績につきましては、売上高は国内外での受注増加により前年同期を大きく上回りましたが、新規部品生産立上げ費用、固定費増など売上原価の高止まりでセグメント利益率は低下しました。

品種別売上高につきましては、主力製品の吸・遮音材が新規部品受注増加により前年同期比46.1%と大きく伸張しました。また、制振材、原材料輸出等のその他売上も前年同期比で増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は189億1千4百万円（前年同期比29.1%増）、セグメント利益は10億7千4百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

③ その他

保険代理業の売上高は6百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ44億6千6百万円増加し、714億5千4百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少12億3千9百万円、受取手形及び売掛金の増加11億8千4百万円、有形固定資産の増加35億2千4百万円、投資有価証券の増加12億7千4百万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ25億9千2百万円増加し、300億4千万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加8億1千6百万円、短期借入金の減少2億3千2百万円、未払法人税等の増加1億3千9百万円、流動負債のその他の増加20億4百万円、長期借入金の減少3億4千1百万円、固定負債の繰延税金負債の増加3億9千7百万円によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ18億7千4百万円増加し、414億1千4百万円となりました。主な要因は、資本剰余金の減少1億2千5百万円、利益剰余金の増加14億4千2百万円、その他有価証券評価差額金の増加7億4千7百万円、為替換算調整勘定の減少3億5千6百万円、非支配株主持分の増加1億2千4百万円によるものです。この結果、自己資本比率は1.0%減少し53.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ12億3千9百万円減少し、73億1千5百万円となりました。

営業活動による資金は、33億7千6百万円の収入（前年同期比9億1千3百万円の増加）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益26億1百万円に対して、減価償却費13億4千万円、持分法による投資損益△11億4千万円、売上債権の増減額△12億1千万円、仕入債務の増減額8億2千8百万円、利息及び配当金の受取額10億1百万円によるものです。

投資活動による資金は、33億9千2百万円の支出（前年同期比6千3百万円の増加）となりました。この主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出35億3千8百万円によるものです。

財務活動による資金は、12億3千7百万円の支出（前年同期比22億3千万円の増加）となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出7億3千6百万円、配当金の支払額3億9千8百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出1億6千5百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、塗料関連事業では主力製品の販売増や工事関連売上となる集合住宅大規模改修工事の受注増、自動車製品関連事業では吸・遮音材を中心とした国内外での受注増加により、売上高は前回予想を上回る見込みとなりました。

利益面につきましても、増収に伴う利益の増加に加え、為替の影響等により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回予想を上回る見込みとなりました。

なお、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、主に持分法による投資利益が前期比で減少すること（前期は米国関連会社における固定資産売却益9億6千万円を計上）等により、前期実績を下回っております。

また、この業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の根拠に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

〔通期の連結業績予想〕

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	54,600	2,900	5,200	3,600	162.82
今回修正予想 (B)	55,200	3,200	5,800	3,800	171.87
増減額 (B-A)	600	300	600	200	—
増減率 (%)	1.1	10.3	11.5	5.6	—
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	47,998	3,162	6,741	4,778	216.11

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,572	7,333
受取手形及び売掛金	13,642	14,826
商品及び製品	1,502	1,440
仕掛品	578	613
原材料及び貯蔵品	1,061	1,079
繰延税金資産	401	442
その他	1,064	335
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	26,815	26,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,832	5,058
機械装置及び運搬具(純額)	5,992	5,635
土地	4,292	4,656
建設仮勘定	1,907	5,089
その他(純額)	1,875	1,984
有形固定資産合計	18,899	22,424
無形固定資産		
その他	1,053	1,126
無形固定資産合計	1,053	1,126
投資その他の資産		
投資有価証券	18,385	19,659
長期貸付金	268	268
繰延税金資産	68	69
その他	1,525	1,876
貸倒引当金	△28	△32
投資その他の資産合計	20,218	21,841
固定資産合計	40,171	45,391
資産合計	66,987	71,454

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,292	11,108
短期借入金	2,748	2,515
リース債務	113	81
未払法人税等	322	462
役員賞与引当金	80	-
その他	4,219	6,223
流動負債合計	17,776	20,391
固定負債		
長期借入金	3,946	3,605
リース債務	231	200
退職給付に係る負債	4,230	4,182
繰延税金負債	1,222	1,620
その他	40	40
固定負債合計	9,671	9,649
負債合計	27,447	30,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	4,362	4,237
利益剰余金	22,853	24,296
自己株式	△497	△498
株主資本合計	31,472	32,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,037	5,784
為替換算調整勘定	428	71
退職給付に係る調整累計額	△175	△131
その他の包括利益累計額合計	5,290	5,724
非支配株主持分	2,775	2,900
純資産合計	39,539	41,414
負債純資産合計	66,987	71,454

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	21,291	26,233
売上原価	16,169	20,545
売上総利益	5,122	5,687
販売費及び一般管理費	3,861	4,449
営業利益	1,261	1,238
営業外収益		
受取配当金	112	128
持分法による投資利益	1,998	1,140
その他	82	153
営業外収益合計	2,193	1,422
営業外費用		
支払利息	42	53
為替差損	243	-
その他	17	12
営業外費用合計	302	66
経常利益	3,151	2,594
特別利益		
固定資産売却益	-	0
受取保険金	0	3
投資有価証券売却益	88	101
特別利益合計	88	105
特別損失		
固定資産処分損	68	97
投資有価証券評価損	0	-
特別損失合計	68	97
税金等調整前四半期純利益	3,171	2,601
法人税等	652	438
四半期純利益	2,519	2,163
非支配株主に帰属する四半期純利益	258	321
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,260	1,842

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	2,519	2,163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	142	741
為替換算調整勘定	△445	△97
退職給付に係る調整額	47	43
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,269	△303
その他の包括利益合計	△1,525	384
四半期包括利益	993	2,547
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	954	2,276
非支配株主に係る四半期包括利益	39	271

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,171	2,601
減価償却費	1,003	1,340
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	30	△3
受取利息及び受取配当金	△130	△152
支払利息	42	53
持分法による投資損益(△は益)	△1,998	△1,140
固定資産売却損益(△は益)	-	△0
固定資産処分損益(△は益)	68	97
投資有価証券評価損益(△は益)	0	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△88	△101
受取保険金	△0	△3
売上債権の増減額(△は増加)	974	△1,210
たな卸資産の増減額(△は増加)	△112	19
仕入債務の増減額(△は減少)	△612	828
その他	△564	419
小計	1,783	2,749
利息及び配当金の受取額	1,355	1,001
利息の支払額	△39	△53
保険金の受取額	0	3
法人税等の支払額	△636	△325
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,462	3,376
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8	-
定期預金の払戻による収入	91	-
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,489	△3,538
有形及び無形固定資産の売却による収入	-	6
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
投資有価証券の売却による収入	121	166
貸付金の回収による収入	1	-
その他	△38	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,329	△3,392
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	59	112
長期借入れによる収入	1,809	112
長期借入金の返済による支出	△810	△736
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△307	△398
非支配株主への配当金の支払額	△58	△105
非支配株主からの払込みによる収入	360	-
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△165
その他	△59	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー	992	△1,237
現金及び現金同等物に係る換算差額	22	13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	148	△1,239
現金及び現金同等物の期首残高	6,073	8,555
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	422	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,644	7,315

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,639	14,645	21,284	7	21,291	—	21,291
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	1	—	1	△1	—
計	6,641	14,645	21,286	7	21,293	△1	21,291
セグメント利益	224	1,032	1,257	3	1,261	—	1,261

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,312	18,914	26,226	6	26,233	—	26,233
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	1	—	1	△1	—
計	7,314	18,914	26,228	6	26,235	△1	26,233
セグメント利益	161	1,074	1,235	3	1,238	—	1,238

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。